



2025 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 A V i C
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 市 原 創 吾
(コード番号：9554 東証グロース市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 笹 野 誠
(TEL. 03-6272-6174)

直近のよくある問い合わせと回答

日頃より、当社に関心をお寄せいただき有難うございます。2025 年 5 月 15 日に開示した 2025 年 9 月期第 2 四半期決算に関連して投資家様から特に多く寄せられた問い合わせと回答について、フェアディスクロージャーの観点から下記の通りお知らせいたします。

Q1. 2025 年 9 月期 2 Q 決算をどう評価するか？

2025 年 9 月期 2 Q 決算は、1 Q に引き続きエンタープライズ顧客を中心に新規顧客の獲得が進展したことにより、YoY・QoQ とともに増収・増益となりました。社内計画対比では、売上高が計画通り、各段階利益が上振れての着地となっており、順調な進捗であるものと評価しております。計画策定時の想定と比べ、エンタープライズ顧客からの売上高比率が高まったことを主因に、各段階利益が上振れての着地となっております。

Q2. 第 3 四半期以降の業績の進捗イメージは？

2025 年 9 月期 3 Q も良好な事業状態が継続しており、社内計画を上回る水準にて進捗中で、YoY、QoQ とともに増収が確度高く見通せております。

3 Q 及び 4 Q は、2 Q までに開始している案件が継続しつつ、新たに受注した案件が開始することが見込まれております。結果的に、売上高の進捗について、過年度はマーケティングの需要期に当たる 3 月を含む 2 Q が強含む傾向にありましたが、進行期は、季節性以上に成長性が業績に与えるインパクトが大きく、 $1Q < 2Q < 3Q < 4Q$ となる見込みです。

各段階利益については、売上高と同様に売上総利益は $1Q < 2Q < 3Q < 4Q$ となる見込みも、M&A により 3 Q (5 月) から P/L の連結が開始となる株式会社リアレーション (以下「リアレーション社」という。) の M&A 関連費用 (仲介手数料、専門家費用、のれん償却費) 約 30

百万円を3Qに計上予定のため、3Qの営業利益以下はQoQで減益となる見込みです。

通期業績計画については、4Qも良好な事業状態が継続する見込みで、蓋然性高く達成が見通せております。

Q3. エンタープライズ顧客の獲得が順調とあるが、大手総合系広告代理店との協業によるものが多いのか？

エンタープライズ顧客の獲得について、大手総合系広告代理店との協業も順調に進捗しておりますが、当社単独での顧客獲得も同様に順調に進捗しております。

Q4. 人材採用の状況をどう評価しているか？

足許は、中途採用が計画対比でややビハインドしている状況ではありますが、増加する需要に対する供給体制は順調に強化されております。具体的には、マネージャー等中間層の育成と業務委託の活用、自社開発ツールの機能向上等の取り組みが進展しております。また、将来のマネージャー候補である2026年4月入社の新卒社員数は約20名を予定しており、過去最多の水準となっております。

Q5. 株式会社リアレーションのM&A、株式会社ASYマーケティングの設立、「TikTok Shop」やライブコマースについて、教えてほしい。

TikTokをはじめとする縦型動画広告の企画・制作・運用を強みに、SNSマーケティング事業等を営むリアレーション社を、株式交換により完全子会社化しました（2025年4月契約締結、2025年5月効力発生）。なお、本株式交換における交換比率は当社の定める厳格な財務規律に沿って決定されております。

リアレーション社のP/Lの連結及びのれん等無形固定資産の償却の開始は、2025年5月からとなります。2025年9月期（2025年5月～2025年9月の5ヶ月間）については、リアレーション社の営業損益はほぼプラスマイナスゼロ、のれん等無形固定資産の償却費用は約15百万円、その他M&A関連費用は約30百万円と見込んでおり、本件が2025年9月期の当社の連結業績に与える影響は軽微です。2025年9月期に各種PMIを実行することで、2026年9月期（2025年10月～2026年9月の12ヶ月間）は、リアレーション社の売上高は600百万円超、営業利益は数千万円と見込み、のれん等無形資産償却後の利益がプラスとなる計画です。

株式会社 ASY マーケティング（以下「ASY マーケティング社」という。）は、ライブコマースをはじめとする「TikTok Shop」の運用支援を目的に、2025 年 6 月に当社と浙江思美遥望科技传媒有限公司（以下「思美遥望社」という。）等とで設立した合弁会社です。思美遥望社は思美传媒股份有限公司（証券コード 002712）が 51%出資、杭州遥望网络科技有限公司（証券コード 002291）が 49%出資する合弁会社で、ライブコマース事業におけるグローバルでのリーディングカンパニーです。

2025 年 4 月、日本での「TikTok Shop」の開設が正式にアナウンスされ、2025 年は日本における「ライブコマース元年」となる見込みです。ライブコマースは、主に TikTok 等の SNS 上で、ライブ配信を活用して商品を販売する手法です。2019 年に中国でサービスが開始され、その後、東南アジア、アメリカ、イギリスなどでも展開され、急激な成長を見せております。なお、2023 年の中国におけるライブコマースの市場規模は約 100 兆円とされています。

日本においても、新たなサービスとして普及することが見込まれておりますが、市場の規模や拡大ペースについて、現時点で正確な見通しを立てることは困難です。そのため、今期の事業計画には「TikTok Shop」関連の数値影響を織り込んでおりません。

今後、当社グループは、当社、思美遥望社及びリアレーション社の強みを持ち寄り、これから本格拡大する日本におけるライブコマース市場での主要プレイヤーとなることを目指します。

以上